

出資等法人の第三者評価結果及びこれに対する措置計画について

平成23年2月18日

市長公室

1 評価の趣旨

市の出資等の割合が一定規模以上の法人（※）（以下「出資等法人」という。）について、現在の社会経済情勢の下で担うべき公益的役割を明確にするとともに、その役割に沿って経営の質を高め、経営内容の見直しと課題の解決を図ることにより、将来にわたり自立した経営の仕組みを構築することを目的に、出資等法人の経営状況全般について第三者評価を実施し、法人自らが措置計画を策定のうえ経営改善に取り組んできたが、計画の取組期間が平成22年度で最終年度となる「たまやま振興株式会社」について、23年度以降の経営改善に資するため「盛岡市自治体経営推進会議出資法人部会」による第三者評価を実施したものである。

※市の出資等の割合が法人の出資等額全体のおおむね4分の1以上を占め、かつ、市の出資等金額が500万円以上である17法人。

2 評価の方法

「盛岡市自治体経営推進会議出資法人部会」が、たまやま振興株式会社（以下、「法人」という。）及び市の所管課である玉山総合事務所産業振興課（以下、「所管課」という。）が行った経営内容の自己評価を分析・検討するとともに、法人及び所管課へのヒアリングを実施し、経営上の課題を抽出して取りまとめた。

また、法人及び所管課は、課題解決のためにどのような取組みを行っていくかを検討し、措置計画を策定した。

3 評価結果と措置計画

資料のとおり。

4 今後の予定

法人及び所管課が第三者評価及び措置計画に基づき経営改善に取り組むよう助言等を行うとともに、措置状況等について情報を公開する。

出資等法人に係る経営評価結果に対する措置計画

法人名	たまやま振興株式会社	所管課	産業振興課
-----	------------	-----	-------

指 摘 事 項 等	対 応 策
<p>(1) 法人の課題</p> <p>【目的適合性（公益性）】</p> <p>① 地域の住民とともに施設を盛り立てた結果が仮に赤字であっても、その内容が市民の理解を得られていればよいという考え方もあります。また、地産地消のメニューを提供し喜ばれるという目的が達成されるのであれば赤字でもよいという考え方もあります。市民に愛され、安らぎと憩いを与えていることを分かりやすく説明することが必要です。(★)</p>	<p>① たまやま振興(株)は、盛岡市総合交流ターミナルの設立目的である「農村資源を活用した都市と農村の交流を推進し、地域の活性化を図るとともに、市民の保健及び保養と交流の場を提供すること」を達成するために設立され、「市の活性化への貢献と自立経営」、「顧客満足度の高い施設運営とサービス」、「各部門ごとの経営改善と不採算部門の解消」という経営方針のもとで取組を行っております。</p> <p>地域の魅力を発信する取組を通じて、交流人口の増加、農家所得の向上、地域の活性化及び都市と農村との交流拠点施設として地域の皆さんに理解されるよう努めております。</p> <p>今年度より体験型観光の取組として周辺地域の農家と連携し、農業体験の受入れを計画し、実施に向け協議をかさねております。</p> <p>地産地消の取組としては平成 21 年度から地元食材活用のメニュー作りに取り組み、玉山産短角牛、クレソン、スッポンなどを活用し、玉山ならではの産品開発に努めており、広く市民にPRしてまいります。</p> <p>また、市民の保養と交流の場として隣接する市の市有地を借り受け、新たにグランドゴルフコースの新設に向け市と協議してまいります。</p> <p>今後も各種取組を通じて市民の健康増進や安らぎと憩いの場として欠かせない施設であることを広く市民や地域の皆様にPRするとともに、ホームページ等を通じて説明してまいります。</p>

(★) 印は特に重点的な取組が求められた項目で、3年間の取組工程を作成しています。

出資等法人に係る経営評価結果に対する措置計画

法人名	たまやま振興株式会社	所管課	産業振興課
-----	------------	-----	-------

指 摘 事 項 等	対 応 策								
<p>② 市民等からアイデアを吸い上げる企画、施設を盛り立てる組織の立ち上げなどについての検討が望まれます。</p> <p>【計画性】</p> <p>ア 運営について</p> <p>① 施設全体について、存廃や大規模修繕等も考慮に入れた、20～30年後先を見据えた長期的なあり方を検討することが必要です。(★)</p>	<p><取組工程></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="877 364 1029 409">年度</th> <th data-bbox="1029 364 1476 409">取組内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="877 409 1029 564">23年度</td> <td data-bbox="1029 409 1476 564"> <ul style="list-style-type: none"> ・グリーンツーリズムの取組 ・地元食材活用メニュー作り ・ホームページによる法人の活動状況のPR・説明 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="877 564 1029 796">24年度</td> <td data-bbox="1029 564 1476 796"> <ul style="list-style-type: none"> ・グリーンツーリズムの取組 ・地元食材活用メニュー作り ・グランドゴルフコース新設への市との協議 ・ホームページによる法人の活動状況のPR・説明 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="877 796 1029 1028">25年度</td> <td data-bbox="1029 796 1476 1028"> <ul style="list-style-type: none"> ・グリーンツーリズムの取組 ・地元食材活用メニュー作り ・グランドゴルフコース新設 ・ホームページによる法人の活動状況のPR・説明 </td> </tr> </tbody> </table> <p>② 現在、地元老人クラブから、敷地内の美化・清掃のご協力をいただいております。また、産直組織の「いずみ会」の協力活動として、赤いそばを撒き鑑賞会等が実施されるなど、施設のPRにも役立っております。</p> <p>また、市民からのアイデア企画等や施設利用に関する意見等を反映させるため、意見箱を設置するとともに、施設利用事業者や地域及び関係団体との意見交換会を実施してまいります。</p> <p>① 平成10年のオープンから10年以上が経過したことから施設・設備の老朽化が目立ち、修繕及び更新が必要な状況にあることから、市と連携して年次毎の修繕・更新計画を策定し、計画的に修繕及び更新をしてまいります。</p>	年度	取組内容	23年度	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーンツーリズムの取組 ・地元食材活用メニュー作り ・ホームページによる法人の活動状況のPR・説明 	24年度	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーンツーリズムの取組 ・地元食材活用メニュー作り ・グランドゴルフコース新設への市との協議 ・ホームページによる法人の活動状況のPR・説明 	25年度	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーンツーリズムの取組 ・地元食材活用メニュー作り ・グランドゴルフコース新設 ・ホームページによる法人の活動状況のPR・説明
年度	取組内容								
23年度	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーンツーリズムの取組 ・地元食材活用メニュー作り ・ホームページによる法人の活動状況のPR・説明 								
24年度	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーンツーリズムの取組 ・地元食材活用メニュー作り ・グランドゴルフコース新設への市との協議 ・ホームページによる法人の活動状況のPR・説明 								
25年度	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーンツーリズムの取組 ・地元食材活用メニュー作り ・グランドゴルフコース新設 ・ホームページによる法人の活動状況のPR・説明 								

(★) 印は特に重点的な取組が求められた項目で、3年間の取組工程を作成しています。

出資等法人に係る経営評価結果に対する措置計画

法人名	たまやま振興株式会社	所管課	産業振興課
-----	------------	-----	-------

指 摘 事 項 等	対 応 策																										
	<p>施設利用者実績と目標</p> <table border="1"> <tr><td>平成 16 年度 (実績)</td><td>276,663 人</td></tr> <tr><td>平成 17 年度 (実績)</td><td>258,927 人</td></tr> <tr><td>平成 18 年度 (実績)</td><td>252,383 人</td></tr> <tr><td>平成 19 年度 (実績)</td><td>247,126 人</td></tr> <tr><td>平成 20 年度 (実績)</td><td>243,277 人</td></tr> <tr><td>平成 21 年度 (実績)</td><td>240,104 人</td></tr> <tr><td>平成 22 年度 (目標)</td><td>248,905 人</td></tr> <tr><td>平成 23 年度 (目標)</td><td>250,642 人</td></tr> <tr><td>平成 24 年度 (目標)</td><td>252,392 人</td></tr> </table> <p><取組工程></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>取内</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23 年度</td> <td>・施設・設備の修繕及び更新計画の策定 ・計画的な施設・設備の修繕及び更新</td> </tr> <tr> <td>24 年度</td> <td>・計画的な施設・設備の修繕及び更新</td> </tr> <tr> <td>25 年度</td> <td>・計画的な施設・設備の修繕及び更新</td> </tr> </tbody> </table>	平成 16 年度 (実績)	276,663 人	平成 17 年度 (実績)	258,927 人	平成 18 年度 (実績)	252,383 人	平成 19 年度 (実績)	247,126 人	平成 20 年度 (実績)	243,277 人	平成 21 年度 (実績)	240,104 人	平成 22 年度 (目標)	248,905 人	平成 23 年度 (目標)	250,642 人	平成 24 年度 (目標)	252,392 人	年度	取内	23 年度	・施設・設備の修繕及び更新計画の策定 ・計画的な施設・設備の修繕及び更新	24 年度	・計画的な施設・設備の修繕及び更新	25 年度	・計画的な施設・設備の修繕及び更新
平成 16 年度 (実績)	276,663 人																										
平成 17 年度 (実績)	258,927 人																										
平成 18 年度 (実績)	252,383 人																										
平成 19 年度 (実績)	247,126 人																										
平成 20 年度 (実績)	243,277 人																										
平成 21 年度 (実績)	240,104 人																										
平成 22 年度 (目標)	248,905 人																										
平成 23 年度 (目標)	250,642 人																										
平成 24 年度 (目標)	252,392 人																										
年度	取内																										
23 年度	・施設・設備の修繕及び更新計画の策定 ・計画的な施設・設備の修繕及び更新																										
24 年度	・計画的な施設・設備の修繕及び更新																										
25 年度	・計画的な施設・設備の修繕及び更新																										
<p>② 長期的には、株式会社として営業用資産を自由に調達し、機動性を持って生かす方向に進めていくことが望まれます。</p> <p>③ 現場を統括する者が経営に関与するしくみを構築することが望まれます。</p>	<p>② 現在は、経営状況の悪化により営業用資産を自由に調達できる状況にありませんが、魅力ある商品開発やコスト管理意識の徹底などを通じて、経営管理を向上させながら財務基盤を強化し、資産調達や機動性の向上が図れるよう努めてまいります。</p> <p>③ 現在は、たまやま振興(株)の支配人が現場統括責任者となっておりますが、今後は取締役会において今まで以上に現場の現状や経営方針の把握・確認を行い、経営者と現場が共通認識を持ちながら、相互に経営管理してまいります。</p>																										
<p>イ 宿泊部門について</p> <p>① 宿泊部門については、採算性が悪く赤字の主たる原因となっていることから、縮小も含めた今後の在り方について、デ</p>	<p>① オープンから10年以上経過し、設備面で利用者のニーズに添えない状況にありますが、今後は優待割引券等低価格で宿泊できる工夫や施設設置目的から逸脱し</p>																										

(★) 印は特に重点的な取組が求められた項目で、3年間の取組工程を作成しています。

出資等法人に係る経営評価結果に対する措置計画

法人名	たまやま振興株式会社	所管課	産業振興課
-----	------------	-----	-------

指 摘 事 項 等	対 応 策																										
<p>一夕の検証も行いながら、長期的な見通しを立てることが必要です。(★)</p>	<p>ない範囲内で客室の多目的利用についても検討してまいります。</p> <p>宿泊利用者実績と目標</p> <table border="1"> <tr><td>平成 16 年度(実績)</td><td>6,512 人</td></tr> <tr><td>平成 17 年度(実績)</td><td>4,779 人</td></tr> <tr><td>平成 18 年度(実績)</td><td>4,530 人</td></tr> <tr><td>平成 19 年度(実績)</td><td>4,364 人</td></tr> <tr><td>平成 20 年度(実績)</td><td>4,052 人</td></tr> <tr><td>平成 21 年度(実績)</td><td>4,402 人</td></tr> <tr><td>平成 22 年度(目標)</td><td>4,122 人</td></tr> <tr><td>平成 23 年度(目標)</td><td>4,150 人</td></tr> <tr><td>平成 24 年度(目標)</td><td>4,178 人</td></tr> </table> <p><取組工程></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>取組内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23 年度</td> <td>・ 宿泊者データの分析 ・ 宿泊利用者を増やすための企画商品の開発</td> </tr> <tr> <td>24 年度</td> <td>・ 客室多目的利用の検討</td> </tr> <tr> <td>25 年度</td> <td>・ 宿泊利用状況の分析及び改善策の検討・実施</td> </tr> </tbody> </table>	平成 16 年度(実績)	6,512 人	平成 17 年度(実績)	4,779 人	平成 18 年度(実績)	4,530 人	平成 19 年度(実績)	4,364 人	平成 20 年度(実績)	4,052 人	平成 21 年度(実績)	4,402 人	平成 22 年度(目標)	4,122 人	平成 23 年度(目標)	4,150 人	平成 24 年度(目標)	4,178 人	年度	取組内容	23 年度	・ 宿泊者データの分析 ・ 宿泊利用者を増やすための企画商品の開発	24 年度	・ 客室多目的利用の検討	25 年度	・ 宿泊利用状況の分析及び改善策の検討・実施
平成 16 年度(実績)	6,512 人																										
平成 17 年度(実績)	4,779 人																										
平成 18 年度(実績)	4,530 人																										
平成 19 年度(実績)	4,364 人																										
平成 20 年度(実績)	4,052 人																										
平成 21 年度(実績)	4,402 人																										
平成 22 年度(目標)	4,122 人																										
平成 23 年度(目標)	4,150 人																										
平成 24 年度(目標)	4,178 人																										
年度	取組内容																										
23 年度	・ 宿泊者データの分析 ・ 宿泊利用者を増やすための企画商品の開発																										
24 年度	・ 客室多目的利用の検討																										
25 年度	・ 宿泊利用状況の分析及び改善策の検討・実施																										
<p>② 休館日がなく、部屋の稼働率 50%で、一室平均利用人数が 2 人とすると、おおよそ年間 6,600 人(※)が利用するという計算になります。宿泊の方針を考える際には、この人数を目安に考えていくことが望まれます。(※18 室×50%×2 人×365 日=6,600 人)</p>	<p>② 平成 21 年度実績では平均稼働率が 15.2%で、利用者人数が 4,402 人となっており、仮に利用者人数を 6,600 人と想定した場合、平均稼働率は 7.5%増の 22.7%という試算になります。</p> <p>今後、宿泊の方針を考えるにあたっては、宿泊者データを分析し、中長期計画で設定した目標数値達成に向けて宿泊利用者を増やすための新たな商品開発に努めてまいります。</p>																										
<p>(3)【経営管理の仕組み】【活動成果】</p> <p>ア 施設について</p> <p>① 平成 19 年度の経営評価時と比較して、玄関及び産直コーナーの衛生面については改善が認められましたが、宿泊棟への渡り廊下等、一部の汚れについてはさらに改善が必要です。(★)</p>	<p>① 休館日に絨毯クリーニングを実施しております。長年の利用により磨り減ってきている箇所については張替えを検討いたします。今後はメンテナンスに細心の注意を払いお客様に不快感を与えないよう対応してまいります。</p>																										

(★) 印は特に重点的な取組が求められた項目で、3 年間の取組工程を作成しています。

出資等法人に係る経営評価結果に対する措置計画

法人名	たまやま振興株式会社	所管課	産業振興課
-----	------------	-----	-------

指 摘 事 項 等	対 応 策								
	<p><取組工程></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>取組内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23年度</td> <td>・施設・設備の修繕及び更新計画の策定 ・計画的な施設・設備の修繕及び更新</td> </tr> <tr> <td>24年度</td> <td>・計画的な施設・設備の修繕及び更新</td> </tr> <tr> <td>25年度</td> <td>・計画的な施設・設備の修繕及び更新</td> </tr> </tbody> </table>	年度	取組内容	23年度	・施設・設備の修繕及び更新計画の策定 ・計画的な施設・設備の修繕及び更新	24年度	・計画的な施設・設備の修繕及び更新	25年度	・計画的な施設・設備の修繕及び更新
年度	取組内容								
23年度	・施設・設備の修繕及び更新計画の策定 ・計画的な施設・設備の修繕及び更新								
24年度	・計画的な施設・設備の修繕及び更新								
25年度	・計画的な施設・設備の修繕及び更新								
<p>② 産直コーナーについては、市外の特産品まで範囲を広げての販売，門のそばにひさしを設けての販売についても検討が望まれます。</p> <p>③ 宿泊室をマッサージ等のテナントスペースとして賃貸することについても検討が望まれます。</p> <p>イ 企画・宣伝について</p> <p>① 顧客のターゲットを明確にしたうえでの企画開発が望まれます。 施設の個性・特徴をさらに明確にアピールすることが望まれます。 地元の特色を活かした目玉商品の開発が望まれます。 県外客をターゲットにした企画，体験施設を活用した企画，岩手山登山者を対象とした企画，マイクロバスを活用した企画，雪を体験する企画についても検討が望まれます。 盛岡市及び民間のホームページの宿泊料金等の表示の整合性について，改善が望まれます。</p>	<p>② 産直組織「いずみ会」に会員の増員と近隣町村の生産者に対しての呼びかけを行ってまいります。産直イベントを実施し，テント設営による販売も行ってまいります。</p> <p>③ 宿泊者に対するサービスとして，マッサージを実施しておりますが，クアハウスラウンジにマッサージルームを設置し日帰り客に対するサービスとして，実施する方向で検討しております。 施設賃貸は補助事業施設であるため，目的外使用とならないか関係機関と協議を行っており，その結果をふまえて検討してまいります。</p> <p>① 雄大な岩手山の裾野にある温泉と産直のある施設として広くPRしてまいります。ユートランド姫神の魅力として，近くには岩手山伏流水が湧き出ており，クレソンの栽培や虹鱒の養殖が行われております。現在はこの地域で採れた安心安全な野菜を朝取りして販売しておりますが，今後はクレソンや虹鱒を活用したメニューについて検討してまいります。 また，施設の設置趣旨を踏まえグリーンツーリズム推進を更に図るため，体験工房を活用した企画を強化するとともに，姫神山・岩手山登山者を対象とした送迎付きプランや冬の自然散策として生</p>								

(★) 印は特に重点的な取組が求められた項目で，3年間の取組工程を作成しています。

出資等法人に係る経営評価結果に対する措置計画

法人名	たまやま振興株式会社	所管課	産業振興課
-----	------------	-----	-------

指 摘 事 項 等	対 応 策																																						
<p>(4)【財務状況】</p> <p>① 資本金の額は5,500万円ですが、平成22年3月期決算における純資産は5,200万円で、実質的には資本金の額を300万円割り込んでおり、その後も財務状況が悪化しつつあります。利用人数だけを指標とすることのないよう、部門別の稼働率及び客単価の計算や、時系列を追ったコスト計算等、きめ細かな経営管理が必要です。(★)</p>	<p>出湧水までのかんじき体験ツアー、施設周辺の土地を利用したグランドゴルフコースの新設等についても検討してまいります。</p> <p>宿泊料金表示につきましては、市と独自にホームページを立ち上げ、市のホームページとの整合性を図ってまいります。</p> <p>① 部門別コスト計算につきましては、会計事務所に依頼し、宿泊・日帰り入浴・産直・郷土食の各部門でのコスト計算を平成22年度から実施しております。今後は利用者人数のみならず部門別の稼働率や客単価の計算などの指標も把握しながら、部門別のコスト意識を徹底させるようなきめ細やかな経営管理に努めてまいります。</p> <p>収支状況の実績と目標 (単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>収入</th> <th>支出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成16年度(実績)</td> <td>169,867</td> <td>167,044</td> </tr> <tr> <td>平成17年度(実績)</td> <td>151,330</td> <td>156,299</td> </tr> <tr> <td>平成18年度(実績)</td> <td>142,799</td> <td>152,595</td> </tr> <tr> <td>平成19年度(実績)</td> <td>141,091</td> <td>148,113</td> </tr> <tr> <td>平成20年度(実績)</td> <td>137,239</td> <td>144,365</td> </tr> <tr> <td>平成21年度(実績)</td> <td>136,516</td> <td>136,516</td> </tr> <tr> <td>平成22年度(目標)</td> <td>141,125</td> <td>139,092</td> </tr> <tr> <td>平成23年度(目標)</td> <td>141,972</td> <td>139,792</td> </tr> <tr> <td>平成24年度(目標)</td> <td>142,823</td> <td>138,708</td> </tr> </tbody> </table> <p><取組工程></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>取組内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23年度</td> <td>・部門別コスト意識の徹底及び採算性の検討</td> </tr> <tr> <td>24年度</td> <td>・部門別経営状況の分析及び改善策の検討・実施</td> </tr> <tr> <td>25年度</td> <td>・部門別経営状況の分析及び改善策の検討・実施</td> </tr> </tbody> </table>	年度	収入	支出	平成16年度(実績)	169,867	167,044	平成17年度(実績)	151,330	156,299	平成18年度(実績)	142,799	152,595	平成19年度(実績)	141,091	148,113	平成20年度(実績)	137,239	144,365	平成21年度(実績)	136,516	136,516	平成22年度(目標)	141,125	139,092	平成23年度(目標)	141,972	139,792	平成24年度(目標)	142,823	138,708	年度	取組内容	23年度	・部門別コスト意識の徹底及び採算性の検討	24年度	・部門別経営状況の分析及び改善策の検討・実施	25年度	・部門別経営状況の分析及び改善策の検討・実施
年度	収入	支出																																					
平成16年度(実績)	169,867	167,044																																					
平成17年度(実績)	151,330	156,299																																					
平成18年度(実績)	142,799	152,595																																					
平成19年度(実績)	141,091	148,113																																					
平成20年度(実績)	137,239	144,365																																					
平成21年度(実績)	136,516	136,516																																					
平成22年度(目標)	141,125	139,092																																					
平成23年度(目標)	141,972	139,792																																					
平成24年度(目標)	142,823	138,708																																					
年度	取組内容																																						
23年度	・部門別コスト意識の徹底及び採算性の検討																																						
24年度	・部門別経営状況の分析及び改善策の検討・実施																																						
25年度	・部門別経営状況の分析及び改善策の検討・実施																																						

(★) 印は特に重点的な取組が求められた項目で、3年間の取組工程を作成しています。

出資等法人に係る経営評価結果に対する措置計画

法人名	たまやま振興株式会社	所管課	産業振興課
-----	------------	-----	-------

指 摘 事 項 等	対 応 策																																						
② 部門別の集計において、「宿泊客」の人数と、「宿泊せずに宴会のみ利用の客」の人数をそれぞれ明らかにしたうえでの検証が必要です。(★)	<p>② 現在，利用者人数については宿泊・日帰りに分けて計上しておりますが，今後は部門別売上のデータと連携させながら，きめ細かなコスト管理に努めます。</p> <p>宿泊客と宴会のみの利用客者の実績と目標</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>宿泊</th> <th>宴会のみ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成 16 年度(実績)</td> <td>6,512 人</td> <td>8,360 人</td> </tr> <tr> <td>平成 17 年度(実績)</td> <td>4,779 人</td> <td>7,927 人</td> </tr> <tr> <td>平成 18 年度(実績)</td> <td>4,530 人</td> <td>7,164 人</td> </tr> <tr> <td>平成 19 年度(実績)</td> <td>4,364 人</td> <td>7,628 人</td> </tr> <tr> <td>平成 20 年度(実績)</td> <td>4,052 人</td> <td>7,312 人</td> </tr> <tr> <td>平成 21 年度(実績)</td> <td>4,402 人</td> <td>7,656 人</td> </tr> <tr> <td>平成 22 年度(目標)</td> <td>4,122 人</td> <td>7,348 人</td> </tr> <tr> <td>平成 23 年度(目標)</td> <td>4,150 人</td> <td>7,398 人</td> </tr> <tr> <td>平成 24 年度(目標)</td> <td>4,178 人</td> <td>7,449 人</td> </tr> </tbody> </table> <p><取組工程></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>取組内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23 年度</td> <td>・部門別コスト意識の徹底及び採算性の検討</td> </tr> <tr> <td>24 年度</td> <td>・部門別経営状況の分析及び改善策の検討・実施</td> </tr> <tr> <td>25 年度</td> <td>・部門別経営状況の分析及び改善策の検討・実施</td> </tr> </tbody> </table>	年度	宿泊	宴会のみ	平成 16 年度(実績)	6,512 人	8,360 人	平成 17 年度(実績)	4,779 人	7,927 人	平成 18 年度(実績)	4,530 人	7,164 人	平成 19 年度(実績)	4,364 人	7,628 人	平成 20 年度(実績)	4,052 人	7,312 人	平成 21 年度(実績)	4,402 人	7,656 人	平成 22 年度(目標)	4,122 人	7,348 人	平成 23 年度(目標)	4,150 人	7,398 人	平成 24 年度(目標)	4,178 人	7,449 人	年度	取組内容	23 年度	・部門別コスト意識の徹底及び採算性の検討	24 年度	・部門別経営状況の分析及び改善策の検討・実施	25 年度	・部門別経営状況の分析及び改善策の検討・実施
年度	宿泊	宴会のみ																																					
平成 16 年度(実績)	6,512 人	8,360 人																																					
平成 17 年度(実績)	4,779 人	7,927 人																																					
平成 18 年度(実績)	4,530 人	7,164 人																																					
平成 19 年度(実績)	4,364 人	7,628 人																																					
平成 20 年度(実績)	4,052 人	7,312 人																																					
平成 21 年度(実績)	4,402 人	7,656 人																																					
平成 22 年度(目標)	4,122 人	7,348 人																																					
平成 23 年度(目標)	4,150 人	7,398 人																																					
平成 24 年度(目標)	4,178 人	7,449 人																																					
年度	取組内容																																						
23 年度	・部門別コスト意識の徹底及び採算性の検討																																						
24 年度	・部門別経営状況の分析及び改善策の検討・実施																																						
25 年度	・部門別経営状況の分析及び改善策の検討・実施																																						

(★) 印は特に重点的な取組が求められた項目で，3年間の取組工程を作成しています。

出資等法人に係る経営評価結果に対する措置計画

法人名	たまやま振興株式会社	所管課	産業振興課
指 摘 事 項 等		対 応 策	
<p>(2) 所管課の課題</p> <p>【目的適合性（公益性）】</p> <p>① 地域の住民とともに施設を盛り立てた結果が仮に赤字であっても、その内容が市民の理解を得られていればよいという考え方もあります。また、地産地消のメニューを提供し喜ばれるという目的が達成されるのであれば赤字でもよいという考え方もあります。市民に愛され、安らぎと憩いを与えていることを分かりやすく説明することが必要です。(★)</p>		<p>① 盛岡市総合交流ターミナルは「農村資源を活用した都市と農村の交流を推進し、地域の活性化を図るとともに、市民の保健及び保養と交流の場を提供すること」を目的として設立され、その目的を達成するため、たまやま振興(株)が「市の活性化への貢献と自立経営」、「顧客満足度の高い施設運営とサービス」、「各部門ごとの経営改善と不採算部門の解消」という経営方針のもとで各種事業を展開しております。その結果として地域住民の健康増進や特産品開発、農家所得の向上に大きく貢献しており、地域住民の理解や協力に支えられながら地域の魅力を発信し、かつ、市民に安らぎと憩いを与えられる欠かせない施設となっております。</p> <p>たまやま振興(株)においては、社会経済情勢の変化に伴って経営環境が厳しくなっておりますが、新規顧客の獲得、コスト削減、販売促進などを通じて経営の安定化に努めるとともに、平成23年度からは体験型観光に取り組むこととし、周辺地域農家の協力をもとに米作り体験や乳牛飼育体験を計画しております。また、地産地消の促進として、短角牛やスッポンなどの地元食材の活用を平成21年度から実施しており、今後は地元産の食材の更なる活用と掘り起こしを行っていくところではあります。</p> <p>今後はこのような活動等の充実を図りながら、様々な催しなどの際に取組事例を紹介するなどして、地域にとって欠かせない施設であるということを利用者だけでなく市民や地域の皆様にも広くPRしてまいります。</p>	

(★) 印は特に重点的な取組が求められた項目で、3年間の取組工程を作成しています。

出資等法人に係る経営評価結果に対する措置計画

法人名	たまやま振興株式会社	所管課	産業振興課
-----	------------	-----	-------

指 摘 事 項 等	対 応 策								
<p>【計画性】</p> <p>ア 運営について</p> <p>① 施設全体について、存廃や大規模修繕等も考慮に入れた、20～30年後先を見据えた長期的なあり方を検討することが必要です。(★)</p>	<p><取組工程></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="866 367 1018 407">年度</th> <th data-bbox="1018 367 1461 407">取組内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="866 407 1018 561">23年度</td> <td data-bbox="1018 407 1461 561"> <ul style="list-style-type: none"> ・グリーンツーリズムの取組 ・地元食材の活用と掘起し ・ホームページ等による法人の活動状況のPR・説明 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="866 561 1018 716">24年度</td> <td data-bbox="1018 561 1461 716"> <ul style="list-style-type: none"> ・グリーンツーリズムの取組 ・地元食材の活用と掘起し ・ホームページ等による法人の活動状況のPR・説明 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="866 716 1018 871">25年度</td> <td data-bbox="1018 716 1461 871"> <ul style="list-style-type: none"> ・グリーンツーリズムの取組 ・地元食材の活用と掘起し ・ホームページ等による法人の活動状況のPR・説明 </td> </tr> </tbody> </table> <p>① ここ数年の景気悪化により利用者の減に歯止めがかからない状況ですが、たまやま振興(株)には、仕入原価の削減等経費削減に努め、季節ごとの企画商品をPRするなどの経営努力を行うよう指導しております。都市農村交流施設として補助導入し設置された施設であることから、現時点での廃止の考えはありませんが、設立目的に沿った計画的な運営が図られるよう指定管理者と認識を共有しながら今後更に指導助言してまいります。</p> <p>また、平成10年のオープン以降老朽化が目立ち、修繕及び更新が必要な設備が多くなってきている状況にあることから、平成24年に起債償還が終了することなども踏まえて、指定管理者と協議しながら、大規模修繕及び備品更新の年次計画を策定してまいります。</p> <p>また、今後の施設運営の参考とするため、近隣の類似施設の運営状況等についても調査研究してまいります。</p>	年度	取組内容	23年度	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーンツーリズムの取組 ・地元食材の活用と掘起し ・ホームページ等による法人の活動状況のPR・説明 	24年度	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーンツーリズムの取組 ・地元食材の活用と掘起し ・ホームページ等による法人の活動状況のPR・説明 	25年度	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーンツーリズムの取組 ・地元食材の活用と掘起し ・ホームページ等による法人の活動状況のPR・説明
年度	取組内容								
23年度	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーンツーリズムの取組 ・地元食材の活用と掘起し ・ホームページ等による法人の活動状況のPR・説明 								
24年度	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーンツーリズムの取組 ・地元食材の活用と掘起し ・ホームページ等による法人の活動状況のPR・説明 								
25年度	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーンツーリズムの取組 ・地元食材の活用と掘起し ・ホームページ等による法人の活動状況のPR・説明 								

(★) 印は特に重点的な取組が求められた項目で、3年間の取組工程を作成しています。

出資等法人に係る経営評価結果に対する措置計画

法人名	たまやま振興株式会社	所管課	産業振興課
-----	------------	-----	-------

指 摘 事 項 等	対 応 策																										
	<p>施設利用者実績と目標</p> <table border="1"> <tr><td>平成 16 年度 (実績)</td><td>276,663 人</td></tr> <tr><td>平成 17 年度 (実績)</td><td>258,927 人</td></tr> <tr><td>平成 18 年度 (実績)</td><td>252,383 人</td></tr> <tr><td>平成 19 年度 (実績)</td><td>247,126 人</td></tr> <tr><td>平成 20 年度 (実績)</td><td>243,277 人</td></tr> <tr><td>平成 21 年度 (実績)</td><td>240,104 人</td></tr> <tr><td>平成 22 年度 (目標)</td><td>248,905 人</td></tr> <tr><td>平成 23 年度 (目標)</td><td>250,642 人</td></tr> <tr><td>平成 24 年度 (目標)</td><td>252,392 人</td></tr> </table> <p><取組工程></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>取組内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23 年度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・木質チップボイラー導入 ・施設・設備の修繕及び更新計画の策定 ・計画的な施設・設備の修繕及び更新 ・運営状況の分析 </td> </tr> <tr> <td>24 年度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・計画的な施設・設備の修繕及び更新 ・運営改善策の検討 </td> </tr> <tr> <td>25 年度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・計画的な施設・設備の修繕及び更新 ・運営改善策の実施 </td> </tr> </tbody> </table>	平成 16 年度 (実績)	276,663 人	平成 17 年度 (実績)	258,927 人	平成 18 年度 (実績)	252,383 人	平成 19 年度 (実績)	247,126 人	平成 20 年度 (実績)	243,277 人	平成 21 年度 (実績)	240,104 人	平成 22 年度 (目標)	248,905 人	平成 23 年度 (目標)	250,642 人	平成 24 年度 (目標)	252,392 人	年度	取組内容	23 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・木質チップボイラー導入 ・施設・設備の修繕及び更新計画の策定 ・計画的な施設・設備の修繕及び更新 ・運営状況の分析 	24 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な施設・設備の修繕及び更新 ・運営改善策の検討 	25 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な施設・設備の修繕及び更新 ・運営改善策の実施
平成 16 年度 (実績)	276,663 人																										
平成 17 年度 (実績)	258,927 人																										
平成 18 年度 (実績)	252,383 人																										
平成 19 年度 (実績)	247,126 人																										
平成 20 年度 (実績)	243,277 人																										
平成 21 年度 (実績)	240,104 人																										
平成 22 年度 (目標)	248,905 人																										
平成 23 年度 (目標)	250,642 人																										
平成 24 年度 (目標)	252,392 人																										
年度	取組内容																										
23 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・木質チップボイラー導入 ・施設・設備の修繕及び更新計画の策定 ・計画的な施設・設備の修繕及び更新 ・運営状況の分析 																										
24 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な施設・設備の修繕及び更新 ・運営改善策の検討 																										
25 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な施設・設備の修繕及び更新 ・運営改善策の実施 																										
<p>② 長期的には、株式会社として営業用資産を自由に調達し、機動性を持って生かす方向に進めていくことが望まれます。</p> <p>③ 現場を統括する者が経営に関与するしくみを構築することが望まれます。</p>	<p>② 現在は、経営状況の悪化により営業用資産を自由に調達できる状況にありませんが、魅力ある商品開発やコスト管理意識の徹底などとともに、経営管理を向上させながら財務基盤を強化し、資産調達や機動性の向上が図れるよう経営管理状況を把握しながら指導助言してまいります。</p> <p>③ 現在、支配人が現場統括責任者となっておりますが、今後は取締役会において現場の現状や経営方針等を定期的に把握・確認するなどして、経営者と現場が共通認識を持ちながら、相互に経営管理</p>																										

(★) 印は特に重点的な取組が求められた項目で、3年間の取組工程を作成しています。

出資等法人に係る経営評価結果に対する措置計画

法人名	たまやま振興株式会社	所管課	産業振興課
-----	------------	-----	-------

指 摘 事 項 等	対 応 策																										
<p>イ 宿泊部門について</p> <p>① 宿泊部門については、採算性が悪く赤字の主たる原因となっていることから、縮小も含めた今後の在り方について、データの検証も行いながら、長期的な見通しを立てることが必要です。(★)</p>	<p>していくよう努めるとともに、支配人により権限を付与することについて、指定管理者とともに研究してまいります。</p> <p>① 年々宿泊者が減少していることから、今後、宿泊者データを分析し、改善策を講じるとともに、優待割引券等低価格で宿泊できる工夫や客室の多目的利用について、補助施設であり制約もありますが、抵触しない範囲内で検討しながら宿泊利用者の増につながるよう指導助言してまいります。</p> <p>宿泊利用者実績と目標</p> <table border="1"> <tr><td>平成 16 年度 (実績)</td><td>6,512 人</td></tr> <tr><td>平成 17 年度 (実績)</td><td>4,779 人</td></tr> <tr><td>平成 18 年度 (実績)</td><td>4,530 人</td></tr> <tr><td>平成 19 年度 (実績)</td><td>4,364 人</td></tr> <tr><td>平成 20 年度 (実績)</td><td>4,052 人</td></tr> <tr><td>平成 21 年度 (実績)</td><td>4,402 人</td></tr> <tr><td>平成 22 年度 (目標)</td><td>4,122 人</td></tr> <tr><td>平成 23 年度 (目標)</td><td>4,150 人</td></tr> <tr><td>平成 24 年度 (目標)</td><td>4,178 人</td></tr> </table> <p><取組工程></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>取組内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23 年度</td> <td>・ 宿泊者データの分析 ・ 宿泊者を増やすための企画 商品開発への支援</td> </tr> <tr> <td>24 年度</td> <td>・ 客室多目的利用の検討</td> </tr> <tr> <td>25 年度</td> <td>・ 宿泊利用状況の分析及び改善策の検討・実施</td> </tr> </tbody> </table>	平成 16 年度 (実績)	6,512 人	平成 17 年度 (実績)	4,779 人	平成 18 年度 (実績)	4,530 人	平成 19 年度 (実績)	4,364 人	平成 20 年度 (実績)	4,052 人	平成 21 年度 (実績)	4,402 人	平成 22 年度 (目標)	4,122 人	平成 23 年度 (目標)	4,150 人	平成 24 年度 (目標)	4,178 人	年度	取組内容	23 年度	・ 宿泊者データの分析 ・ 宿泊者を増やすための企画 商品開発への支援	24 年度	・ 客室多目的利用の検討	25 年度	・ 宿泊利用状況の分析及び改善策の検討・実施
平成 16 年度 (実績)	6,512 人																										
平成 17 年度 (実績)	4,779 人																										
平成 18 年度 (実績)	4,530 人																										
平成 19 年度 (実績)	4,364 人																										
平成 20 年度 (実績)	4,052 人																										
平成 21 年度 (実績)	4,402 人																										
平成 22 年度 (目標)	4,122 人																										
平成 23 年度 (目標)	4,150 人																										
平成 24 年度 (目標)	4,178 人																										
年度	取組内容																										
23 年度	・ 宿泊者データの分析 ・ 宿泊者を増やすための企画 商品開発への支援																										
24 年度	・ 客室多目的利用の検討																										
25 年度	・ 宿泊利用状況の分析及び改善策の検討・実施																										
<p>(3) 【経営管理の仕組み】【活動成果】</p> <p>イ 企画・宣伝について</p> <p>① 盛岡市及び民間のホームページの宿泊料金等の表示の整合性について、改善が望まれます。</p>	<p>① 民間のホームページの表示内容を確認し、整合性を図ります。また、施設独自のホームページの立ち上げを指導するとともに、市のホームページでの施設紹介を充実いたします。</p>																										

(★) 印は特に重点的な取組が求められた項目で、3年間の取組工程を作成しています。

出資等法人に係る経営評価結果に対する措置計画

法人名	たまやま振興株式会社	所管課	産業振興課
-----	------------	-----	-------

指 摘 事 項 等	対 応 策																																						
<p>(4) 【財務状況】</p> <p>① 資本金の額は5,500万円ですが、平成22年3月期決算における純資産は5,200万円で、実質的には資本金の額を300万円割り込んでおり、その後も財務状況が悪化しつつあります。利用人数だけを指標とすることのないよう、部門別の稼働率及び客単価の計算や、時系列を追ったコスト計算等、きめ細かな経営管理が必要です。(★)</p>	<p>① 部門別コスト計算につきましては、会計事務所に依頼し、宿泊・日帰り入浴・産直・郷土食の各部門でのコスト計算を平成22年度から実施しております。今後は利用者人数のみならず部門別の稼働率や客単価の計算などの指標や収支状況などの報告を定期的に受けながら、部門別のコスト意識を徹底させ、危機感を持ってきめ細やかな経営管理を進めるよう管理運営内容にまで踏み込んで指導してまいります。</p> <p style="text-align: right;">収支状況の実績と目標 (単位：千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">年度</th> <th style="width: 30%;">収入</th> <th style="width: 30%;">支出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>平成16年度(実績)</td><td>169,867</td><td>167,044</td></tr> <tr><td>平成17年度(実績)</td><td>151,330</td><td>156,299</td></tr> <tr><td>平成18年度(実績)</td><td>142,799</td><td>152,595</td></tr> <tr><td>平成19年度(実績)</td><td>141,091</td><td>148,113</td></tr> <tr><td>平成20年度(実績)</td><td>137,239</td><td>144,365</td></tr> <tr><td>平成21年度(実績)</td><td>136,516</td><td>136,516</td></tr> <tr><td>平成22年度(目標)</td><td>141,125</td><td>139,092</td></tr> <tr><td>平成23年度(目標)</td><td>141,972</td><td>139,792</td></tr> <tr><td>平成24年度(目標)</td><td>142,823</td><td>138,708</td></tr> </tbody> </table> <p><取組工程></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">年度</th> <th style="width: 85%;">取組内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">23年度</td> <td>・部門別コスト意識の徹底指導及び採算性の検討</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">24年度</td> <td>・部門別経営状況の分析及び改善策の検討・実施</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">25年度</td> <td>・部門別経営状況の分析及び改善策の検討・実施</td> </tr> </tbody> </table>	年度	収入	支出	平成16年度(実績)	169,867	167,044	平成17年度(実績)	151,330	156,299	平成18年度(実績)	142,799	152,595	平成19年度(実績)	141,091	148,113	平成20年度(実績)	137,239	144,365	平成21年度(実績)	136,516	136,516	平成22年度(目標)	141,125	139,092	平成23年度(目標)	141,972	139,792	平成24年度(目標)	142,823	138,708	年度	取組内容	23年度	・部門別コスト意識の徹底指導及び採算性の検討	24年度	・部門別経営状況の分析及び改善策の検討・実施	25年度	・部門別経営状況の分析及び改善策の検討・実施
年度	収入	支出																																					
平成16年度(実績)	169,867	167,044																																					
平成17年度(実績)	151,330	156,299																																					
平成18年度(実績)	142,799	152,595																																					
平成19年度(実績)	141,091	148,113																																					
平成20年度(実績)	137,239	144,365																																					
平成21年度(実績)	136,516	136,516																																					
平成22年度(目標)	141,125	139,092																																					
平成23年度(目標)	141,972	139,792																																					
平成24年度(目標)	142,823	138,708																																					
年度	取組内容																																						
23年度	・部門別コスト意識の徹底指導及び採算性の検討																																						
24年度	・部門別経営状況の分析及び改善策の検討・実施																																						
25年度	・部門別経営状況の分析及び改善策の検討・実施																																						

(★) 印は特に重点的な取組が求められた項目で、3年間の取組工程を作成しています。